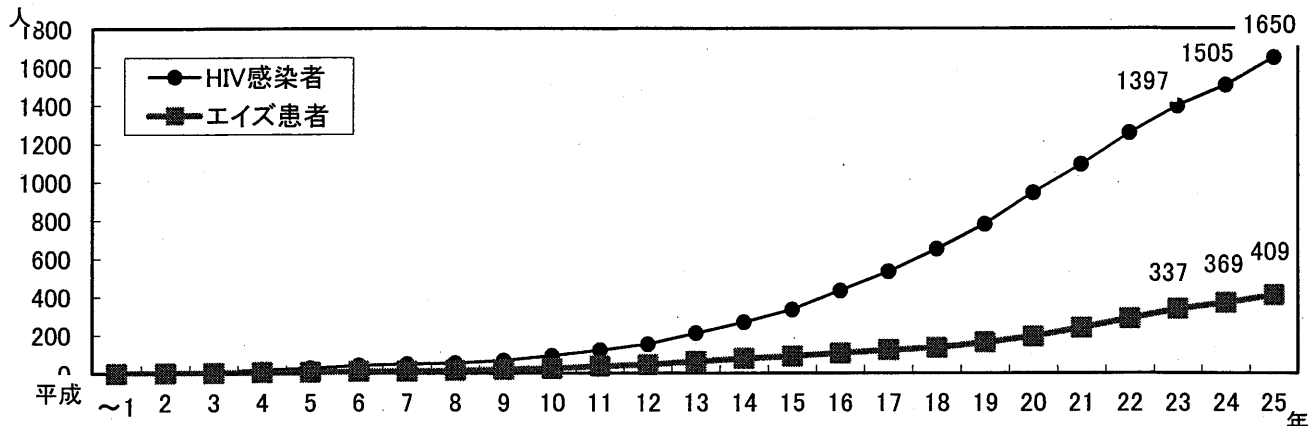


大阪市におけるHIV感染の状況について(平成25年)

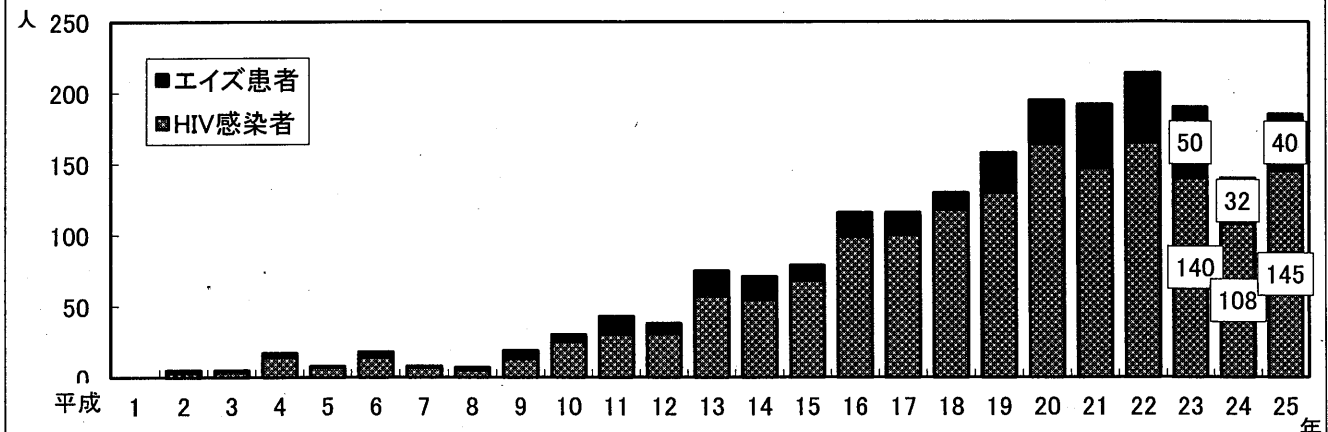
資料 6

(平成元年2月17日～平成25年12月31日診断届出分)

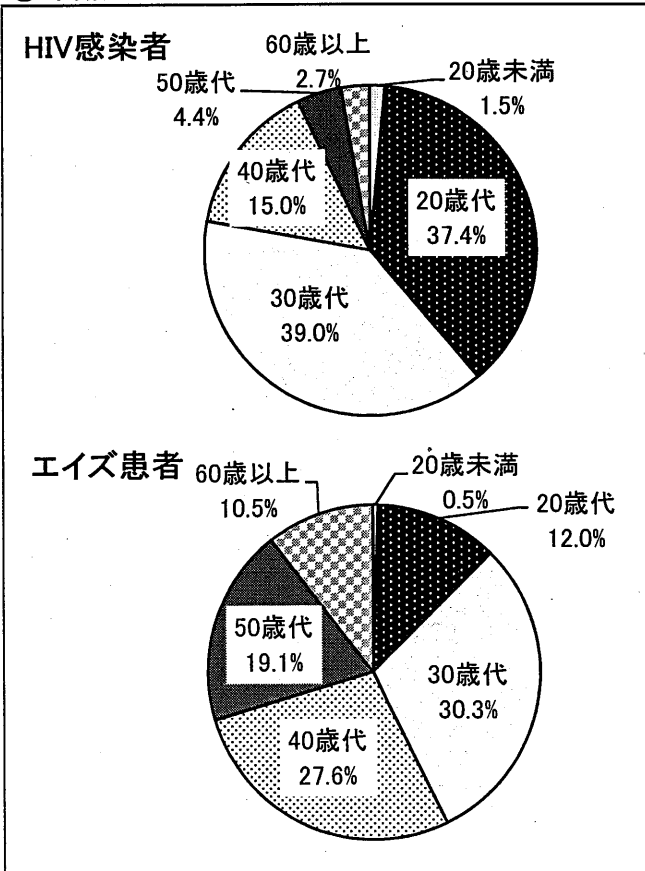
①HIV感染者・エイズ患者の年次推移<累計>



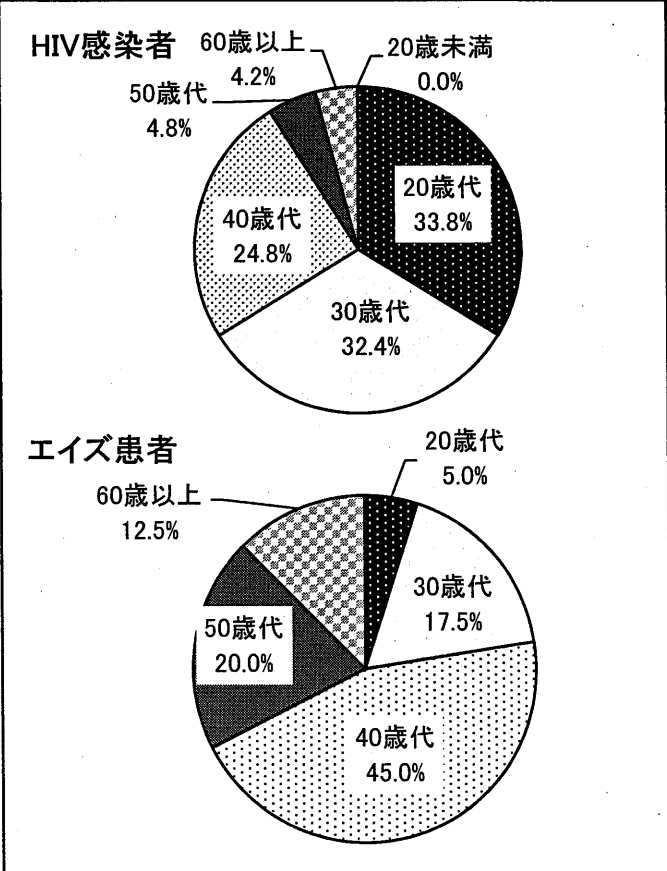
②HIV感染者・エイズ患者年次別届出数推移



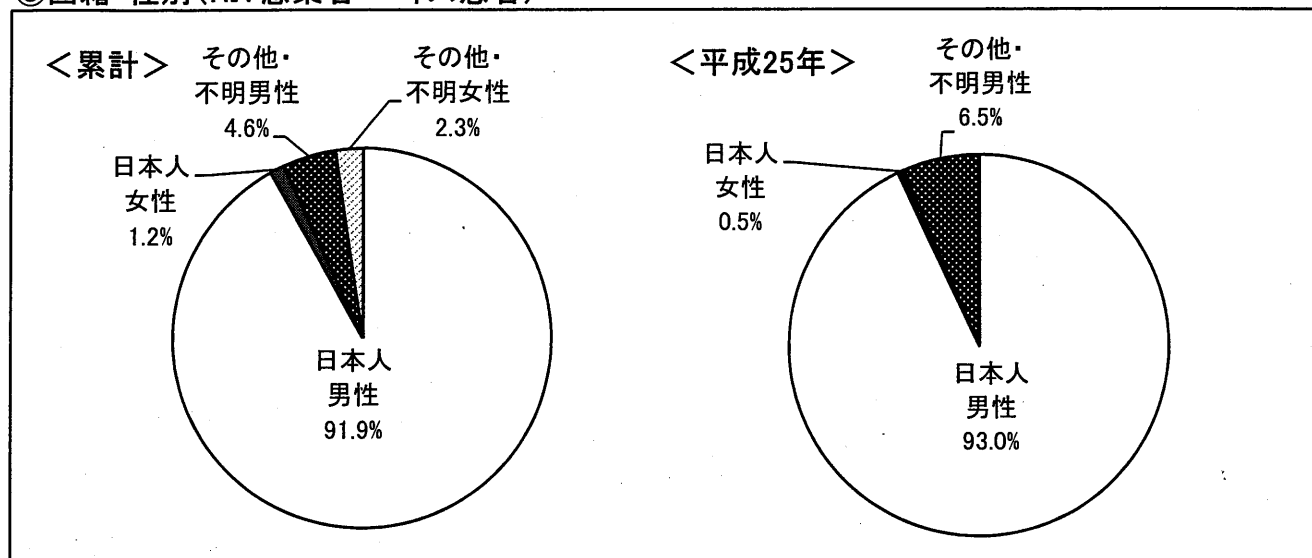
③年齢区分 <累計>



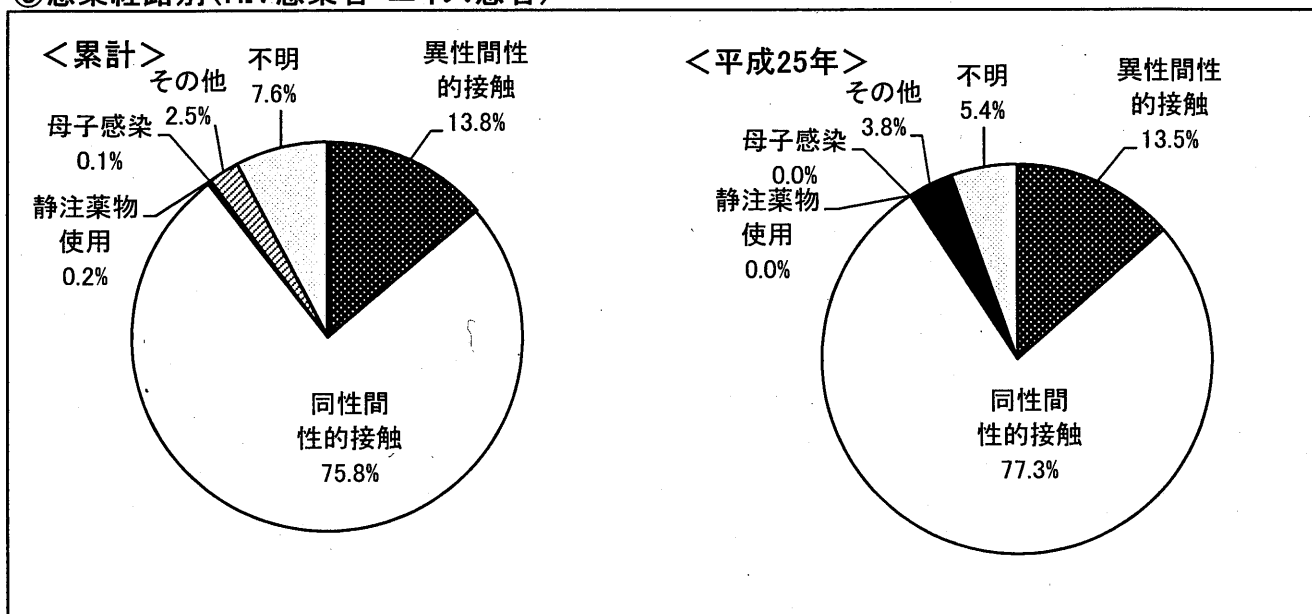
④年齢区分 <平成25年>



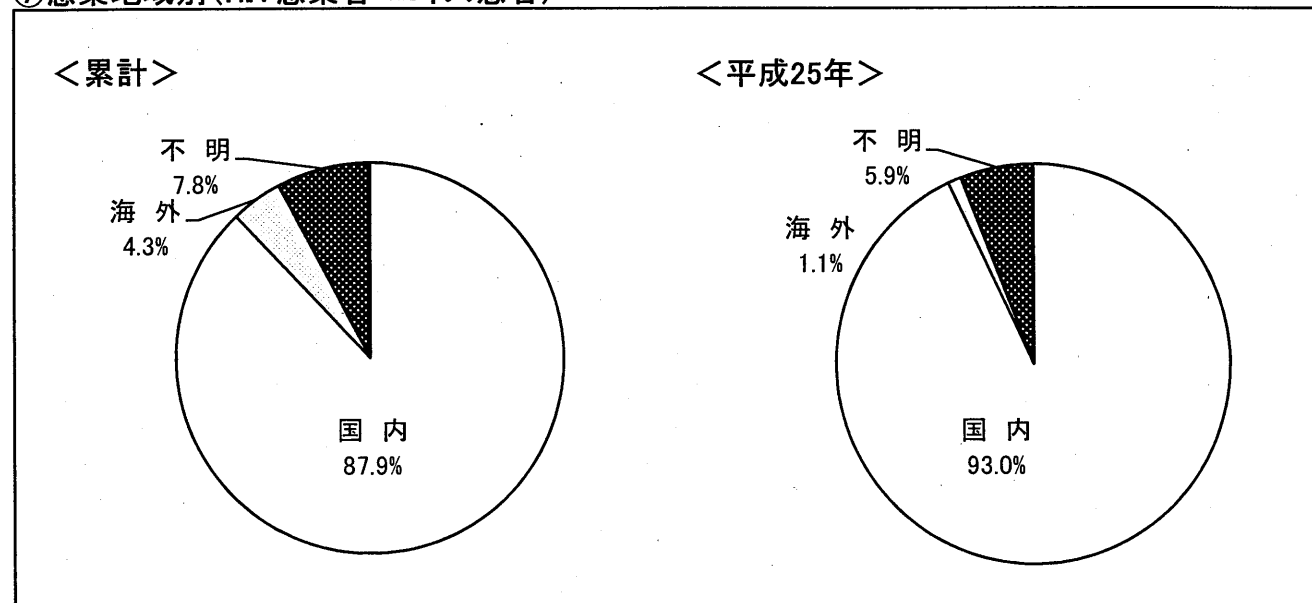
⑤国籍・性別(HIV感染者・エイズ患者)



⑥感染経路別(HIV感染者・エイズ患者)



⑦感染地域別(HIV感染者・エイズ患者)



大阪市におけるHIV感染の状況について(平成25年)

平成26年4月2日現在

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(平成25年1月1日～12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1) HIV感染者・エイズ患者報告数

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	19	6	25
同性間性的接触	116	27	143
静注薬物使用	0	0	0
母子感染	0	0	0
凝固因子製剤(注)	0	0	0
その他	4	3	7
不明	6	4	10
合 計	145	40	185

(2) 年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	0	0	0
20歳代	49	2	51
30歳代	47	7	54
40歳代	36	18	54
50歳代	7	8	15
60歳以上	6	5	11
合 計	145	40	185

(3) 国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	132	40	172
日本人 女性	1	0	1
その他 男性	8	0	8
その他 女性	0	0	0
不明 男性	4	0	4
不明 女性	0	0	0
合 計	145	40	185

(4) 感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	134	38	172
海 外	2	0	2
不 明	9	2	11
合 計	145	40	185

(5) 年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
合 計	1650	409	2059

注) 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

大阪市におけるHIV感染の状況について(累計)

平成26年4月2日現在

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(累計:平成元年2月17日～平成25年12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1) HIV感染者・エイズ患者報告数(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	200	84	284
同性間性的接触	1310	250	1560
静注薬物使用	4	0	4
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤(注)	0	0	0
その他	36	16	52
不明	98	58	156
合 計	1650	409	2059

(2) 年齢区分(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	25	2	27
20歳代	616	49	665
30歳代	644	124	768
40歳代	248	113	361
50歳代	72	78	150
60歳以上	45	43	88
合 計	1650	409	2059

(3) 国籍・性別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	1515	377	1892
女性	20	5	25
その他・不明 男性	79	15	94
女性	36	12	48
合 計	1650	409	2059

注)後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

(4) 感染地域別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	1480	330	1810
海 外	64	25	89
不 明	106	54	160
合 計	1650	409	2059

(5) 年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
合 計	1650	409	2059